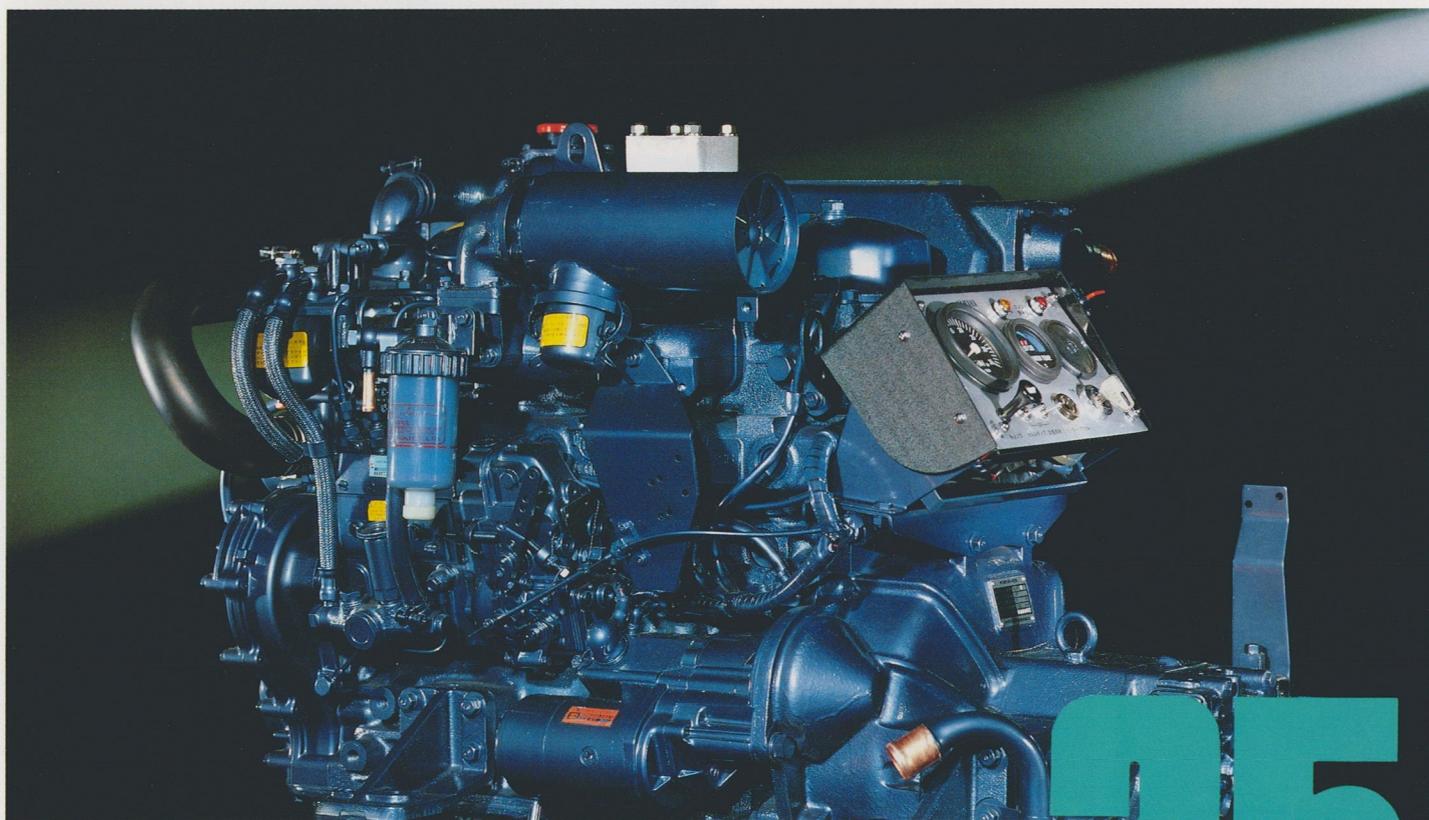


# ヤマハ ディーゼル



MD25

YAMAHA

ご紹介します。信頼と使いやすさのメカニズム。

乾燥重量395kg、最大出力75ps。——小型・軽量・高出力の徹底した思想をMD25は継承しています。馬力あたりの重量は5.3kgと極めて軽量化、スピード性能をはじめ燃料節約など数々の特長が生まれました。

#### 油圧式クラッチ▶

油圧湿式多板型クラッチの採用により、なめらかな軽い切換えが可能です。しかも低速弁を付け、スロー時のプロペラ回転をさらに下げ、漁の状況に応じた操船が行えます。



#### ◀燃料水分離器

燃料回路に装着した水分離器の働きにより、燃料中の水分を取りのぞきます。エンジントラブルを防ぐ機構のひとつです。



#### スターター▶

確実なスタート性能を発揮するリダクション型スターターを採用。スターターモーターに内蔵された減速ギアにより大きなパワーで始動させます。



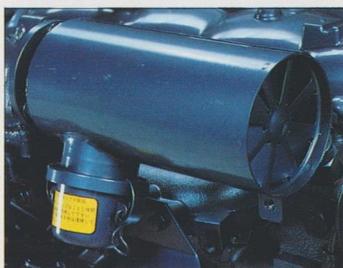
#### ◀オルタネーター

耐久性の高いオルタネーターは、400Wの発電能力です。ICレギュレーターを内蔵していますので、電波障害を防止し、漁業無線などの妨げになることはありません。



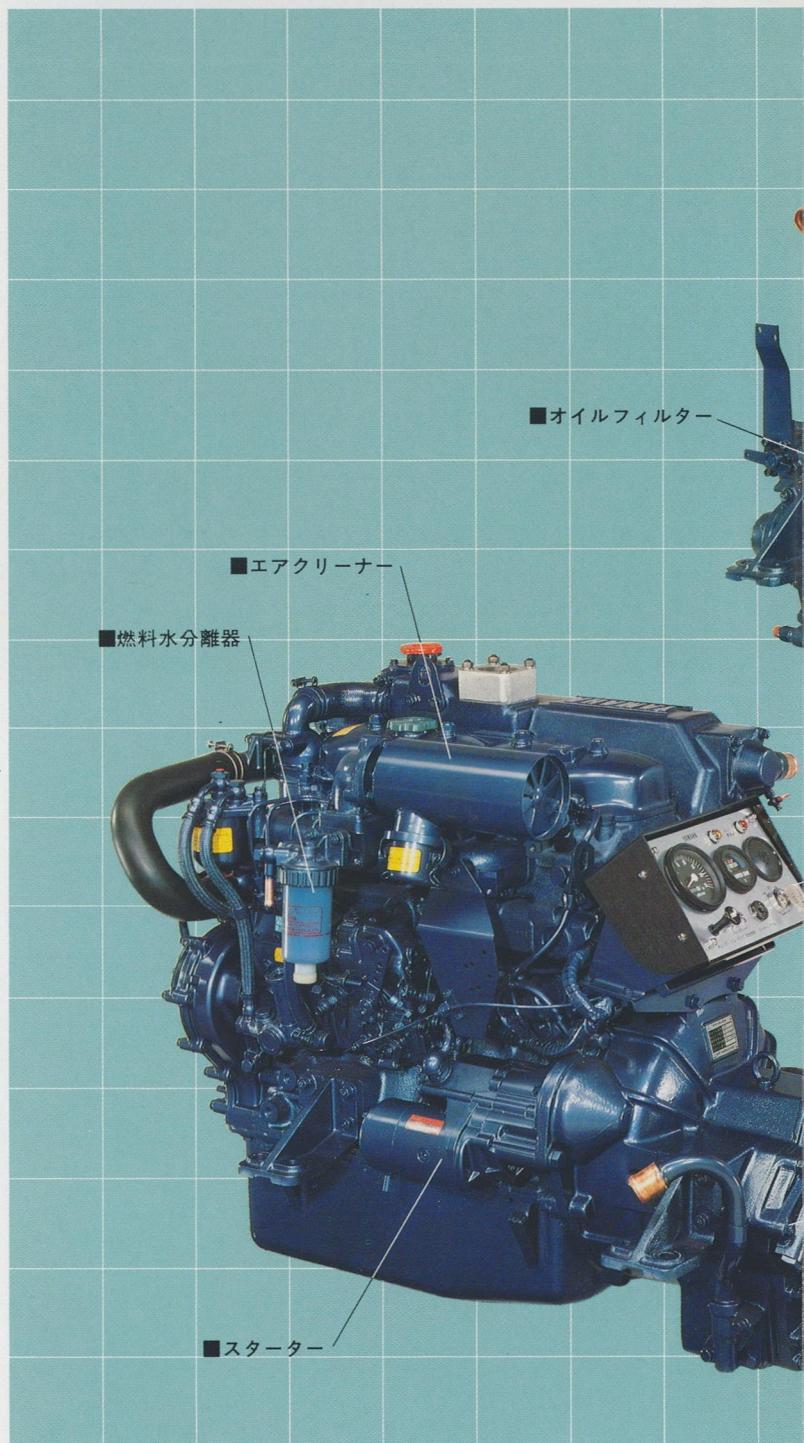
#### サイクロン式エアクリナー▶

ゴミやホコリを遠心除去する大型のエアクリナーを装備しました。エンジン内部への不純物の侵入を防ぎ、摩耗から守ります。



#### ◀オイルフィルター

大型オイルフィルターは、オイル中の不純物を取りのぞき、長時間の高速運転に応えます。耐久性に重点を置いた配慮です。



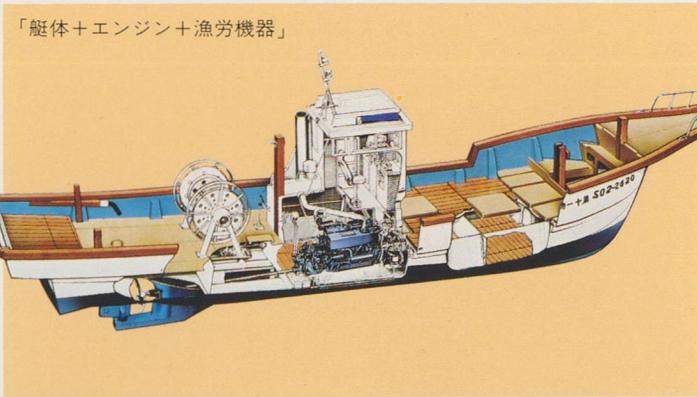
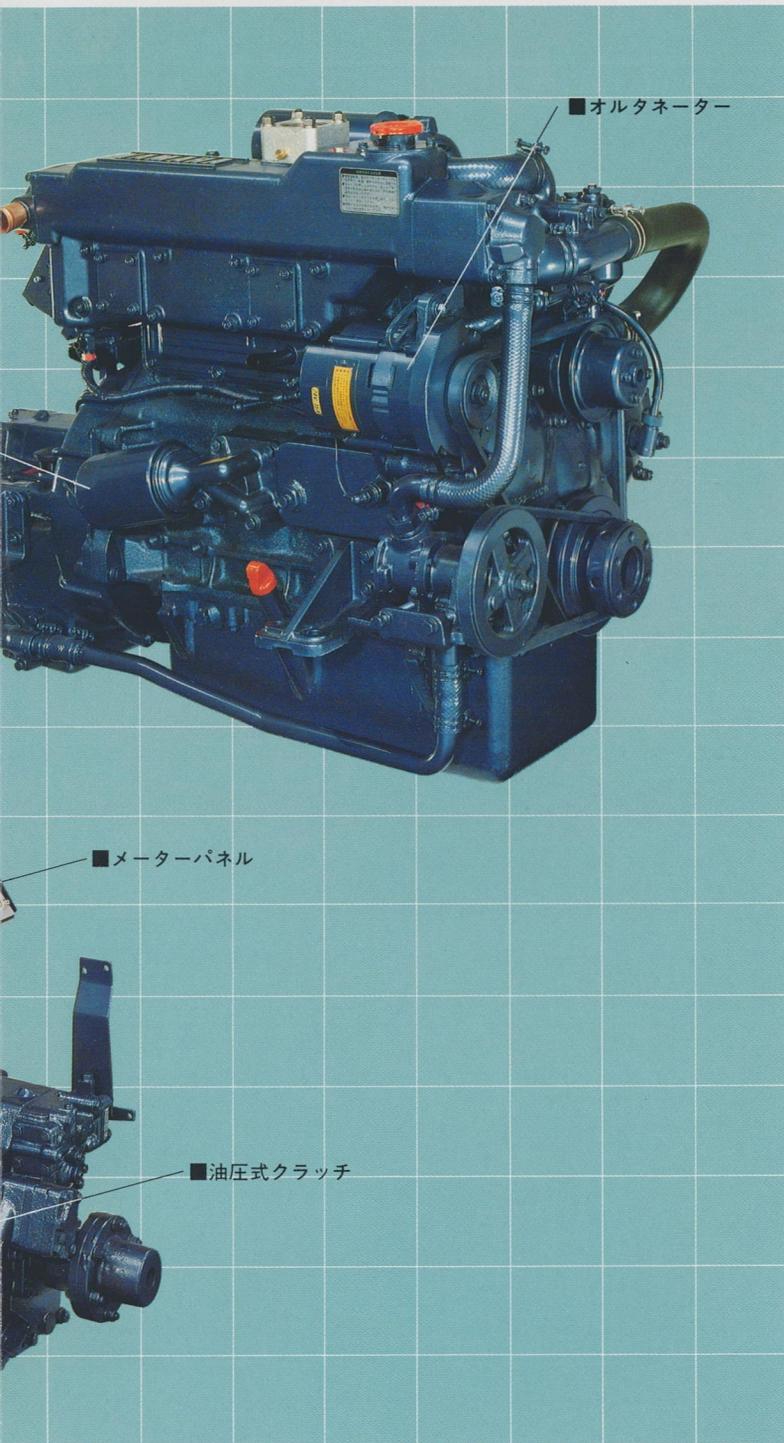
『築き上げた技術の真価。メカニクス』

漁場へダッシュ!!  
コンパクトに徹した自慢のパワー。  
ヤマハMDシリーズの血統です。

MD25

ヤマハは「FRP漁船プラス専用エンジンの開発」により漁船としての機能を高い水準で完成しています。

省力化、高能率化が進む新時代の漁業には、艇体・エンジン・漁労機器の相互関連を重視した総合性能が要求されます。ことに、漁船づくりの基盤となる艇体とエンジンの適合性に関して、ヤマハは常に詳細なデータを分析し実験を行うという、万全の開発体制を敷き、艇体とエンジンが一体となって生み出されます。



|                   |                  |
|-------------------|------------------|
| <p>■市場調査</p>      | <p>■動カテスト</p>    |
| <p>■コンピューター設計</p> | <p>■生産ライン</p>    |
| <p>■水槽テスト</p>     | <p>■アフターサービス</p> |

ズムは、大漁への鼓動を伝える。』

